

めでいかる



感想をお寄せください。〒780 85

高知市の産婦人科診療所「高知ファミリークリニック」(福永寿則院長、同市朝倉横町)がこのほど、国連児童基金(ユニセフ)などから「赤ちゃんにやさしい病院」(BFH)に認定された。国内では75施設が認定されており、四国では愛媛県立中央病院に次ぎ2施設目。母乳育児などの取り組みが評価された。

BFHは、出産後30分以内に母乳を飲ませることができよう援助する、母子同室にするなど、ユニセフなどが提唱する「母乳育児を成功させるための10力条」を継続的に実践している医療機関が対象になる。

母乳育児は、母乳自体が栄養や免疫面で優れていることに加え、授乳時に触れ合うこ

赤ちゃんに優しい病院に

高知ファミリークリニック(高知市)

ユニセフ認定 四国2施設目

とで良好な母子関係を育み、その後の幸せな育児生活にもつながる、とされる。

直後からの24時間母子同室、家族立ち会い出産などに取り組んできた。

同クリニックは2006年の開院当初から、出産を通して母子や家族の絆づくりを支援しようと、母乳育児や出産

13年11月には院内に母乳育児推進委員会を設け、認定に向けた準備を本格化。昨年12月に申請し、書類審査、現地

母乳育児など評価

調査などを経て今年8月に認定を受けた。

同クリニック2階の入院室。4日前に第1子を出産したばかりという母親(24)は「最初の授乳から力強く吸ってくれて、出産の痛さも吹き飛びました」。わが子と同じ部屋で過ごしたことで「退院後も不安はない」と幸せそうにはほ笑む。

福永院長は「お産はゴールではなく、新しい家族のスタート。退院後の育児生活も含め、母子と家族の幸せをこれからも追求していきたい」と話している。

(小川一路)



4日前に生まれたばかりのわが子を、穏やかな表情でやさす母親(高知市の高知ファミリークリニック)